

# KITASATO INSTITUTE HOSPITAL

平成18年度

北里研究所病院

研究発表会抄録集

(ポスター発表)

会 期：平成18年11月20日～12月22日

展示場所：病院4階

## ご挨拶

北里研究所病院 院長

土本 寛二

平成 18 年度 北里研究所病院研究発表会の開催に当たりご挨拶申し上げます。

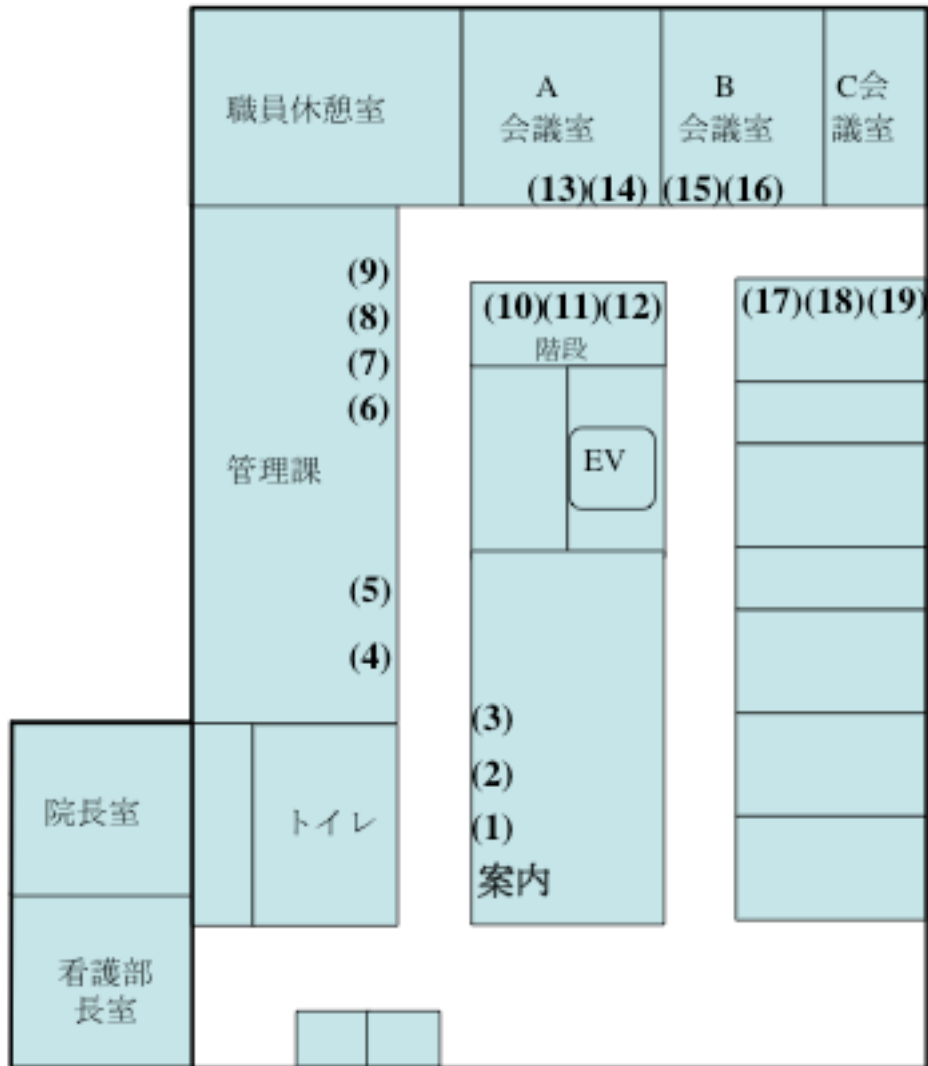
北里柴三郎先生によって明治 26 年に設立された土筆ヶ丘養生園は、北里研究所病院の前身であり、我が国初の結核サナトリウムでありました。この歴史ある当病院も含めた北里研究所は、平成 20 年には北里学園と統合することになり、新しい学校法人が設立される予定です。そのような時代の変化の中において、病院で行われる研究の価値がますます大切なものとして見直されてくると考えています。本年度の研究発表会では、合計で 36 テーマがエントリーされ、内容も基礎から臨床まで幅広い分野での発表が行われます。発表期間が約 1 ヶ月間にわたり、前半・後半の 2 回に分けて開催される予定ですが、活発な意見交換をして頂き、今後の研究活動・医療・病院の発展に貢献するような研究発表会を期待しています。

皆様の今後のさらなる研究の発展を期待し、学会発表や論文投稿などの実りのある業績につなげていけることを切に希望致します。

平成 18 年 11 月吉日

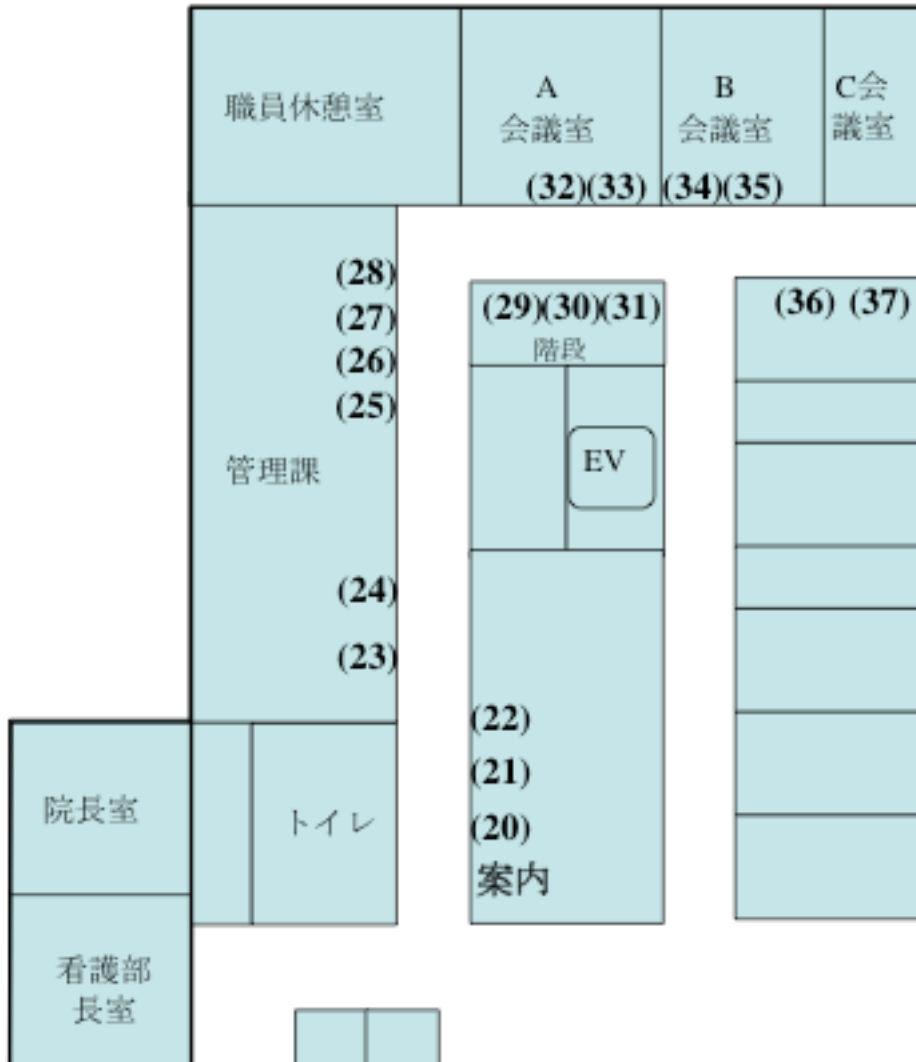
前半発表（展示）

11月20日（月） 13:00 ～ 12月02日（金） 13:00



後半発表（展示）

12月11日（月） 13:00 ～ 12月22日（金） 13:00



## 平成 18 年度 北里研究所病院研究発表会要綱

1. 形式：ポスター発表

2. ポスター発表期間

前半発表グループ 11月20日（月） 13:00 ～ 12月02日（金） 13:00

後半発表グループ 12月11日（月） 13:00 ～ 12月22日（金） 13:00

3. ポスター展示要綱

ポスター展示用パネルのサイズは、横 100cm×縦 72cm です。各自のパネルの上段、横 100cm×縦 5cm の範囲内に以下の項目を掲示して下さい。

1) 演題番号

2) 演題名

3) 発表者名所属

4) 所属

5) メールアドレス（質疑応答はメールにて行って下さい。）

4. ポスターの展示方法

事務局（地下1階共同実験室）で、ポスター用パネルをお配りします。そのパネルにポスターを貼り、事務局に、お持ち下さい。

ポスターパネルの配布時間

**前半発表グループ 11月13日(火)～11月17日(木)9:00～17:00**

**後半発表グループ 12月4日(火)～12月8日(木)9:00～17:00**

\*時間的に不都合な方は、事務局にご連絡下さい。

5. ポスター撤去

ポスターの展示および撤去は、事務局で行い、またポスターは処分致します。不都合のある場合は事務局にご連絡下さい。



## 前半グループ

11月20日(月)～12月02日(金)

1. Vinorelbineのヒト乳癌株に対する抗腫瘍効果  
山田好則(外科)
2. 可移植性ヒト乳癌株に対するDocetaxelを中心とした併用効果の検討  
浅沼史樹(外科)
3. 進行膵臓癌に対する癌化学療法の基礎的検討  
頓宮美樹(薬剤部)
4. 亜鉛負荷はラットのブタ血清誘発肝線維症を改善する  
杉野陽子(薬学部臨床薬学研究センター 病態解析部門)
5. フリーラジカル消去剤であるエダラボンはエンドトキシン肺障害マウスの生存率を改善する。  
鈴木幸男(内科・研究部)
6. Vitamin K2の各種ヒト肝癌細胞株の増殖に及ぼす影響  
戸田京子(研究部)
7. エルシニア感染に対する早期防御免疫誘導と病原性プラスミドの役割  
竹内 修(研究部)
8. 鼻関連粘膜リンパ組織(NALT)の免疫寛容の誘導能の検討  
瀧沢麻子(研究部)
9. 当院におけるNST活動の現状と今後の課題  
北里研究所病院NST委員会
10. 急性期病院での薬膳の試み  
中島千鹿子(栄養科)
11. 明治31年実施の結核専門病院における献立表について  
(土筆ヶ岡養生園の料理構成)  
内田淳一(栄養科)

12. シックハウス症候群患者の客観的診断法のために有効なパラメーターの検索  
—異物代謝酵素遺伝子多型性と抗酸化能評価を中心として—  
坂部 貢 (薬学部公衆衛生学教室)
13. 遠方・近方視時における屈折度及び瞳孔径の検討  
藤岡由起子 (ORT科)
14. 臨床環境医学センター受診患者における中心フリッカー検査の検討  
小沢 学 (看護部)
15. 総コレステロール値とインスリン様成長因子(IGF)を用いた悪液質鑑別の試み  
赤石 誠 (内科)
16. Activating the phosphatidylinositol 3-kinase-Akt pathway in ischemic preconditioning  
島田 恵 (内科)
17. マウス Con A 肝障害抑制薬エダラボン作用機序の検討  
常松 令 (内科)
18. 2型糖尿病患者における足趾上腕血圧比(TBI)測定の意義  
山田 悟 (内科)
19. 初期老視にみられる眼調節機能評価とその傾向について  
松井孝子 (ORT科)

## 後半グループ

12月11日（月）～12月22日（金）

20. DynaCTの有用性、術者やスタッフの被曝について  
安富蔵人（放射線科）
21. T1w-脂肪抑制高速撮像プロトコルの開発  
上原憲二（放射線科）
22. 知覚支援装置付きコルセット(PSC)の効果について  
重田 暁（PT・トレーナー科）
23. インターネット医薬品情報提供システムの活用による医薬品情報(DD)伝達の迅速化および効率化  
田中麻衣（薬剤部）
24. イトラコナゾールのパルス療法の臨床効果ならびに薬物代謝酵素阻害の検討  
柴田壮一（薬剤部）
25. 治験総合管理システムの構築  
氏原 淳（治験管理室）
26. グロビン蛋白分解物を含有する茶飲料摂取時の血清トリグリセリドおよびその他のmetabolic syndrome関連指標に及ぼす影響  
小柴聡美（治験管理室）
27. 治験終了後の被験者に対する情報提供に関する研究  
東 慧子（治験管理室）
28. 治験に抱くイメージと参加効果に関する検討  
有田悦子（治験管理室）
29. 適切なインフォームド・コンセント実施のための教育プログラム構築  
有田悦子（治験管理室）
30. 白血球除去療法(GLAP)治療中みられた症状の検討  
村山 章（透析センター）



31. 関節リウマチ患者におけるメトトレキサート-ポリグルタメート濃度と葉酸輸送担体、 $\gamma$ -グルタミルヒドロラーゼ遺伝子型の関連性評価  
林 智子 (薬学部臨床薬学研究センター 医薬品情報部門)
32. 新規インスリン導入2型糖尿病患者におけるインスリンリスプロ混合製剤ヒューマログミックス50注1日2回投与の有用性についての検討  
増田はるか (薬学部臨床薬学研究センター 病院薬局部門)
33. 下肢虚血におけるHMGB-1の意義とその制御による新しい治療戦略  
金田宗久 (外科)
34. スタチンは心不全患者の自己免疫異常を改善する  
馬場彰泰 (内科)
35. 手術室における手洗い方法の検討  
吉田仁美 (看護部)
36. 外来がん化学療法患者の副作用に関する後ろ向き調査研究  
荻原修代 (看護部)